

三重県防災・減災対策行動計画（仮称）の策定について

平成 29 年 3 月 14 日

防災企画・地域支援課

1 計画の基本的な考え方

(1) 計画策定の目的

三重県防災・減災対策行動計画（仮称）（以下、「次期行動計画」という。）は、「新地震・津波対策行動計画」及び「新風水害対策行動計画」の理念を継承し、総合的な観点から三重県のこれからの防災・減災対策の方向性と道筋を示す計画とします。

本計画をもとに、「自助」、「共助」、「公助」の力を結集して「防災の日常化」をめざし、災害に強い三重づくりを進めます。

(2) 施策体系

施策の柱を「災害予防・減災対策」、「発災後対策」、「復旧・復興対策」とします。

そして、総合的な防災・減災対策の行動計画とするために必要な「施策項目」を設定し、さらに、「施策項目」に沿った具体的な行動を「行動項目」として掲げます。

また、次期行動計画で特に注力すべき対策を「重点的取組」として設定するとともに、これに寄与する行動項目を「重点行動項目」として選択します。

(3) 計画期間

平成 30 年度を初年度とし、平成 34 年度を目標年とする 5 か年の計画とします。

(4) 進行管理

計画の実効性を確保するため、各行動項目に主担当部と目標を定め、計画的な推進を図るとともに、全体の進捗状況を取りまとめ、毎年度公表します。

また、平成 31 年度は「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画」の最終年度にあたるため、中間評価を実施し、今後の施策の進め方について必要な見直しを図ります。

2 想定すべき災害と対策

(1) 地震・津波対策の考え方

次期行動計画の地震・津波対策については、今世紀前半の発生が確実視される南海トラフ地震対策を中心としつつ、平成 28 年 4 月に発生した熊本地震などの内陸直下型地震で明らかになった課題等についても検証を行い、津波から「逃げること」と併せて、耐震や家具固定などの強振動対策、個人備蓄などの「備えること」についても、あらためて啓発していくことが必要です。

そのため、次期行動計画の策定にあたっては、現行計画の検証を行う中で、県民への啓発も含めた強振動対策の行動項目について、検討します。

(2) 風水害対策の考え方

次期行動計画の風水害対策については、基本的には、「新風水害対策行動計画」で整理した考え方を引継ぎ、台風や低気圧など、現在の観測技術で予測が可能である「発災までに時間的余裕のある風水害」と、局地的大雨や竜巻など、「発災までに時間的余裕のない風水害」とに分け、風水害対策を講じることとします。

加えて、平成 27 年関東・東北豪雨や平成 28 年台風第 10 号など、「新風水害対策行動計画」策定後に発生した大規模な風水害の事例から明らかになった課題をふまえた風水害対策を検討します。

3 現行の行動計画の検証

(1) 現行計画検証の時期

平成 29 年 4 月から 7 月まで

(2) 検証の進め方

東日本大震災や紀伊半島大水害の教訓を生かすとともに、南海トラフ地震や毎年大きな災害をもたらす風水害に備え、現行計画の行動項目を実践してきましたが、次期行動計画では、県、市町、地域、県民など、多方面から対策や備えの現状を検証し、「防災の日常化」を進めるための課題を洗い出します。

なお、検証は、みえ防災・減災センターとともに県が実施します。

(3) 検証の項目と内容

現行計画各行動項目の達成状況等の分析

現行計画の行動項目ごとにマネジメントシートを作成し、目標の達成状況や成果、今後の課題等を整理します。

市町の防災・減災対策の現況の分析

各市町（市町内各地域を含む）に対して、防災・減災対策の現況にかかる実態調査（アンケート及びヒアリング）を実施し、今後の課題等を整理します。

県民及び地域の防災・減災対策の現況の分析

現行計画の計画期間における「防災に関する県民意識調査」と「自主防災組織実態調査」の内容の分析を行い、県民や地域における防災・減災対策の進捗状況と課題等を整理します。

県内企業の防災・減災対策の現況の分析

みえ企業等防災ネットワーク会員に対して、防災・減災対策の現況にかかるアンケート調査を実施し、今後の課題等を整理します。

4 重点的取組テーマ及び各行動項目の検討

(1) 実施時期

平成 29 年 8 月～10 月頃

(2) 検討の進め方

県庁内にワークショップを設置し、現行計画の検証結果をふまえ、次期行動計画で取り組むべき課題と、課題を解決するための重点的取組テーマ等について検討を行います。

なお、県庁内ワークショップの運営は、みえ防災・減災センターが実施します。

(3) 検討の項目と内容

次期行動計画で取り組むべき課題

「3 現行の行動計画の検証 (3) 検証の項目と内容」での検証結果に基づき、みえ防災・減災センターのコーディネートのもと、県庁内ワークショップにおいて各部局等担当者と意見交換を行い、現行計画の検証結果から次期行動計画で取り組むべき課題を導き出します。

次期行動計画における重点的取組テーマ

で導き出した課題を解決するため、みえ防災・減災センターのコーディネートのもと、県庁内ワークショップにおいて各部局と意見交換を行い、次期行動計画で特に注力すべき重点的取組テーマを検討・選定します。

次期行動計画における行動項目の選定

で選定した重点的取組テーマを次期行動計画において推進するため、みえ防災・減災センターのコーディネートのもと、県庁内ワークショップにおいて各部局等担当者と意見交換を行い、必要となる重点的行動項目を選定します。

また、その他の行動項目についても、「3 現行の行動計画の検証 (3) 検証の項目と内容」での検証結果に基づき、県庁内ワークショップでの意見交換を通じて、従来の行動項目の見直しや廃止、新規項目の設定等について検討します。

5 これまでの検討状況と今後の進め方

【平成28年度】

- 12月 第1回防災・減災対策検討会議（有識者会議）
策定方針、「新地震・津波対策行動計画」の進捗状況の検証結果
および熊本地震の課題等について意見交換
- 2月 第2回防災・減災対策検討会議（有識者会議）
次期行動計画の「構成案」および「策定の進め方」について意見交換
- 3月 三重県防災対策会議（県庁部長級会議）
次期行動計画の「構成案」および「策定の進め方」の説明

【平成29年度】

- 7～8月 第3回防災・減災対策検討会議（有識者会議）
「現行計画の検証状況」等について意見交換
- 10～11月 第4回防災・減災対策検討会議（有識者会議）
次期行動計画の「課題」および「重点的取組テーマ」について意見交換
- 1～2月 第5回防災・減災対策検討会議（有識者会議）
「三重県防災・減災対策行動計画（仮称）(案)」について意見交換
- 3月 三重県防災対策会議（県庁部長級会議）
「三重県防災・減災対策行動計画（仮称）(案)」の了承

三重県防災・減災対策行動計画（仮称）構成案イメージ

第1章 計画策定の背景

近年の地震や風水害の事例を調査・分析し、その傾向などを明らかにすることにより、本計画が対象とする災害の様相等について示します。

また、国の対策の取組状況等について整理します。

- 1 近年の地震災害事例と国の取組
 - (1) 近年の地震災害事例
 - (2) 国の地震・津波対策の取組方向
- 2 近年の風水害事例と国の取組
 - (1) 近年の風水害事例
 - (2) 国の風水害対策の取組方向

第2章 対策上想定すべき災害の様相

- 1 三重県が対策上想定すべき地震
 - (1) 南海トラフ地震の様相
 - (2) 内陸直下型地震の様相
 - (3) 地震対策の考え方
- 2 三重県が対策上想定すべき風水害
 - (1) 近年の気象の傾向
 - (2) 近年の風水害の状況
 - (3) 風水害対策の考え方

第3章 「新地震・津波対策行動計画」、「新風水害対策行動計画」の検証と対応すべき課題

現行の行動計画の進捗状況等について、県、市町、地域の取組状況を検証し、次期行動計画に反映すべき課題について整理します。

- 1 「新地震・津波対策行動計画」の検証結果と対応すべき課題
 - (1) 「新地震・津波対策行動計画」の進捗状況の分析
 - (2) 「新地震・津波対策行動計画」の残された課題
- 2 「新風水害対策行動計画」の検証結果と対応すべき課題
 - (1) 「新風水害対策行動計画」の進捗状況の分析
 - (2) 「新風水害対策行動計画」の残された課題

第4章 これからの防災・減災対策における取組方向

第1章から第3章をふまえ、必要な対策の取組方向を整理します。

- 1 地震・津波対策における取組方向
- 2 風水害対策における取組方向

第5章 計画の基本的な考え方

- 1 計画の位置づけ
- 2 計画の策定目的
- 3 「防災の日常化」の考え方
- 4 それぞれの取組主体に期待される役割

第6章 計画の基本事項

- 1 施策体系
- 2 計画期間
- 3 進行管理

第7章 課題解決に向けた重点的取組

第4章の取組方向をふまえ、重点的取組の考え方とテーマ等を整理します。

- 1 地震・津波対策の重点的取組
- 2 風水害対策の重点的取組
- 3 地震・津波対策、風水害対策に共通の重点的取組

第8章 行動計画

第4章の取組方向をふまえ、行動項目を整理します。

- 1 地震・津波対策
- 2 風水害対策
- 3 地震・津波、風水害に共通の対策

(参考資料)

計画の随所に「防災コラム」や「有識者インタビュー記事」等を記載するとともに、防災上役立つ情報を掲載して多くの県民に手に取ってもらいやすいような工夫を凝らします。

- 1 三重県防災・減災対策行動計画の策定の流れ
- 2 県・市町等において発行している防災ガイドブック等
- 3 用語の説明
コラム、インタビュー記事